

氏 名 長 友 恒 人  
所 属 ・ 職 名 教育実践開発講座・教授  
( 伝統文化・文化財教育系 )



研究室電話番号 0 7 4 2 - 2 7 - 9 1 8 8 (ダイヤルイン)

電子メールアドレス nagatomo@nara-edu.ac.jp

最終学歴及び学位 京都大学大学院博士課程単位取得退学  
工学博士

所 属 学 会 等 日本文化財科学会，日本物理学会，日本第四紀学会，日本旧石器学会

専 門 分 野 古文化財科学・年代測定学

#### 研究と教育について

年代測定を中心に据えながら，学外の研究者の協力を得ながら，古文化財科学全般の教育を目指しています。文化財をテーマとする自然科学と人文科学の学際領域の研究者，文化財の知識と保存に関する普及に生き甲斐を感じる生涯教育の指導者を養成したいと考えています。

#### 主な研究業績

- ・「石英・長石を試料とした光ルミネッセンス年代測定法の基礎研究」下岡順直・長友恒人，RADIOISOTOPES Vol.50 No.9，pp. 381-389 (2001)
- ・ " TL Dating of the Roof Tiles relevant to Prasat Sour Prat N2 Tower " ， Nagatomo Tsuneto ， Annual Report on the technical Survey of Angkor Monument 2004 ， edited by Japanese Government Team for Safeguarding Angkor (JSA) ， pp.3-10 ， November 2004.
- ・ " Infrared stimulated luminescence in quartz " ， Koichi Inoue ， Tsuneto Nagatomo and Motoji Ikeya ， Radiation Measurements 39 pp.191-196 (2005)
- ・ 「熱ルミネッセンス法による鏡範の真贋判定」長友恒人 鏡範研究 2 - 草葉文鏡範の日中共同研究報告 - 74-78 (2005)
- ・ 「同一テフラの TL 年代と OSL 年代の比較」長友恒人・下岡順直・西村誠治，奈良教育大学紀要，第 54 巻第 2 号，pp.1-9 (2005)

#### 主な授業担当科目

伝統文化・文化財教育(古文化財科学)(大学院)，考古学と自然科学，文化財科学概論Ⅰ，考古科学Ⅱ，考古科学実験Ⅱ

学 会 活 動 日本文化財科学会評議員，日本第四紀学会評議員

社 会 的 活 動 各地の遺跡の年代測定に関する調査指導，講習，講演など

講 演 の テ ー マ 「年代測定 - 自然科学と考古学の連携 - 」  
"Scientific Dating in Archaeology"